

平成22年度

事務事業評価表(平成21年度の実績評価)

記入年月日  
平成 22 年 4 月 26 日

事務事業名		北学校給食センター調理用原材料購入事業				区分		事務事業No.	31132003	
						<input type="checkbox"/> 分野別主要事業 <input type="checkbox"/> 未来プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 市長マニフェスト事業 <input type="checkbox"/> 合併建設計画事業 <input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 <input type="checkbox"/> 単独事業 <input type="checkbox"/> 補助事業		課内No.	3	
政策体系上の位置付け								事務事業主管課		
政策体系	行政評価施策名	16	学校教育の充実					所属部	教育委員会	
	政策名	3	豊かな心と生きがいを育む教育・文化環境づくり					所属課	北給食センター	32
	施策名	1	学校教育の充実					課長名	仁平 美江子	
	基本事業名	1	教育プログラムの充実					所属係	庶務係	
財務会計上の位置付け						事業期間		担当者名	藤田 剛	
予算科目	会計	款	項	目	事業	一般会計				
	1	10	1	4	2	北学校給食センター事業				
法令根拠						<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し (年度～ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)				

【Do】 1. 事務事業の現状把握 → 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入

事務事業の概要(事務事業の内容、担当者が行う業務の内容、手順、事業費の内訳等。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事務事業の内容】  
 栄養士の作成した献立を基に、月1回献立・物資検討会を開催し、「学校給食衛生管理の基準」の食品方法に基づいて、南・北給食センターと共同の物資で安心・安全・安価な食材購入を心がけている。  
 【担当者が行う業務の内容】  
 食材の発注  
 【事業費の内訳】  
 原材料費

(1) 事務事業の目的

①手段(21年度 実際に行った主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	単位
・物資納入業者選定 ・納入業者より、月々の見積もりを取る。発注業者選定 ・安全・安心・安価な原材料納入業者の決定 ・発注書の発送・検収を行う。	ア 原材料購入業者数	件
	イ	
	ウ	
	エ	
②対象(誰、何を対象にしているのか)	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
・給食センター職員(所長・栄養士・事務員・給食主任・調理員)	ア 給食センター職員	人
	イ 学校給食主任	人
	ウ	
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	単位
・物資納入業者への指導 ・安全・安心・適正価格の給食の提供	ア 納入業者への意識向上	人
	イ クレーム及びトラブルの件数減	回
	ウ	
④結果(どんな結果に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
・児童・生徒に安全・安心な給食の提供	ア 異物混入の減	回
	イ 残菜量の減	kg
	ウ	

(2) 指標値の推移

区分	単位	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (計画)	23年度 (目標)
⑤活動指標	ア 件		16	18	15	15	
	イ						
	ウ						
	エ						
⑥対象指標	ア 人		16	17	20	18	
	イ 人		8	8	8	8	
	ウ						
⑦成果指標	ア 人			2	2	1	
	イ 回			0	0	0	
	ウ						
⑧上位成果指標	ア 回		8	15	11	0	
	イ kg		151	137	128	100	
	ウ						

(3) 投入量(事業費)の推移

投入量		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	期間限定 総投入量
事業費	財源内訳							
	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円		103,700	102,359	98,853	96,514	96,514
事業費計(A)	千円	0	103,700	102,359	98,853	96,514	96,514	0
人件費	正規職員従事人数	人						
	延べ業務時間	時間						
	人件費計(B)	千円	0	0	0	0	0	0
	トータルコスト(A)+(B)	千円	0	103,700	102,359	98,853	96,514	96,514

(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？

・小学校・中学校・幼稚園の学校給食を適正かつ円滑に実施するため、調理等の業務を一括処理する施設として、設置されている。  
 ・平成17年7月15日に「食育基本法」が施行されたが、近年食の乱れなどにより、食品の安全性に対する関心が高まっている。

(5) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

・偽装食材・社会問題となっている食材など、購入段階でどのように行っているか又、社会問題となっている食材の使用は、どうなのかなど意見が寄せられた。

事務事業名	北学校給食センター調理用原材料購入事業	事務事業No.	31132003	所属課	北給食センター
-------	---------------------	---------	----------	-----	---------

【See】 2. 評価の部 \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

評価項目		
目的 妥当性	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) ・桜川市条例に基づき実施事業	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) ・桜川市条例に基づき実施事業	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である
	③ 対象・意図の妥当性 (対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?) ・物資納入業者への指導により、安全・安心・適正価格での、食材購入による給食の提供	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である
有効性	④ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) ・現段階で適切に実施している	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) ・文部科学省「学校給食衛生管理の基準」に基づいて行っているため、現状維持	<input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか?(市以外の取り組みも含む)) 他に手段がある <input type="checkbox"/> ⇨ 具体的な手段、事務事業名 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる
効率性	⑦ 事業費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)) ・一人当たりの給食費が決まっており、物資の高騰で現状維持での給食提供も大変	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 (やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない
公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	・とくに問題が発生していないため、現状のままで実施していく																					
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																					
(3)-1 改革改善策	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○	×																		
	低下		×	×																		
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/> 未
(3) 2次評価における改革改善案	(4) 2次評価における指摘事項